



たぐら

第14号
島根学習センター内
島根同窓会

発行者 竹下靖彦
2020年1月発行

<http://oushimaned.main.jp>

E-mail info@oushimaned.main.jp



いちめに群がって朝の光の中に香りを放つ、200万本もの真っ白な日本水仙の花の群落。

「水仙の丘鎌手」の岬に来た。広がる海の碧と真っ白な水仙の花の広がり。

咲き並んだ一つ一つの花びらが、清らかな朝の光の中で震えている。

花の妖精が金色の光の渦となって踊っている。

岬のいちばん端、岬の断崖に佇ってみた。そしてウ〜んと背伸びをした。

遥かに広がる海の碧と潮の匂い。

風が出てきた。潮風が頬を打ちつける。

ざわめきのように光を放ちながら群落が揺れ、こだまとなって水仙の丘にひびいた。

小さく揺れていた花びらの、あの清らかな花の丘。今もそれが私を誘う。

場 所：益田市鎌手町唐音

見ごろ：12月20日頃～1月いっぱい頃

広報部：知野見孝信

あけましておめでとうございます。

本年も何卒よろしく願い申し上げます。

2020年元旦

役員一同

新しい年を迎えての思い

島根同窓会
会長 竹下靖彦



会員の皆さま明けましておめでとうございます。昨年も大変お世話になり衷心より御礼申し上げます。

いよいよ設立10年目を目指し、飛躍を目指す同窓会へとなるべき年を迎えました。

顧みますと、一般大学とは異なり個人学習を主体とし、土日での2つの講義室がセンター行事のため（面接授業とセミナー開催）に利用が制限されるため、各種サークルも活動が行えないため極端に少なく、学生同士が交わる機会も少なく、ゼミもないために連帯感も乏しい中で学部卒業、修士修了者を対象として組織する同窓会の存在価値をどのように浸透させるのか。その為の具体的な活動とは何かについて日々悩みながら、地理的条件が良くない地方都市において、同窓会活動を発展する鍵は何か等々、模索をしています。

30年後を目指す“Vision' 17プラン”？

放送大学は今後30年を視野に入れた、“Vision17プラン”について打ち出している。それは①教育内容に関わる「教養教育の新時代」、②教育に用いるメディアや授業の制度に関わる「教育方法の新時代」、③教育組織に関わる「学習センターの新時代」で放送大学の魅力を高める総合的な取組を展開予定。

社会人の多様な学び方で、より社会のニーズに応えるため、単位を求めないことも含めて、履歴証明書制度を活用した学び方や学び直しに最適な25のエキスパートを活用して、科目群履修認定制度を実施する方向としている模様。

ところが、学生や同窓会に対してはその内容が開示されていず、2年前の新カリキュラム導入と同様なのか不明である。

本年も変わらずご支援をお願い申し上げます。

2年目を迎えるにあたって

島根学習センター
所長 田坂郁夫



明けましておめでとうございます。

昨年4月の就任以来9ヶ月が経過した今、新しい年を迎え、新しい気持ちで学習センターの運営に当たりたいと思っています。引き続き宜しくお願いします。

さて、新年の書き出しには相応しくないかもしれませんが、一昨年7月の岡山・広島の水害に続いて、昨年は8月の九州北部の水害、9月の千葉県を中心とする強風災害、そして10月の台風19号による東日本での広域水害が発生しました。これらを踏まえ、近年大規模な気象災害が増えているとの考えや、その原因を地球の温暖化に求める意見もありますが、よくわからないというのが正直なところかと思えます。

ただ、私たちが災害への備えをしなければならないことは言うまでもありません。皆さんのご家庭でもさまざまなことをなさっていると思いますが、学習センターでも救急箱や毛布などの応急手当・救護用品、懐中電灯・ヘルメット・乾パンなどの非常用物品・食品を準備しています。また、これに加え昨年は気象災害に備えてセンターの閉所基準を定めました。

その基本は安全です。センターへの行き帰りに危険が予測されるような暴風・暴風雪の時はセンターを臨時閉所することで自宅待機を促し、安全につなげようという考えです。詳しくはセンターのホームページや機関誌「だんだん」125号をご覧ください。暴風・暴風雪の気象警報や特別警報、警戒レベル4以上の防災情報が発令された場合には閉所になりますので、ご承知おきください。学習センターは皆さんが寄り集う場所です。これからも安心・安全に学習できるよう環境を整えていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

2019年度

1 学期学位記授与式が開催されました



2019年度第1学期学位記授与式が、9月

29日(日)午前11時から島根学習センター3階第1講義室で開催された。第1学期は教養学部11名が卒業され、4名が出席されました。

(卒業を祝う会で1名参加)

最初に田坂郁夫学習センター所長より学位記が卒業生おひとりお一人に手渡され、そのご努力とご偉業に対して、会場の出席者とともに大いに祝福しました。

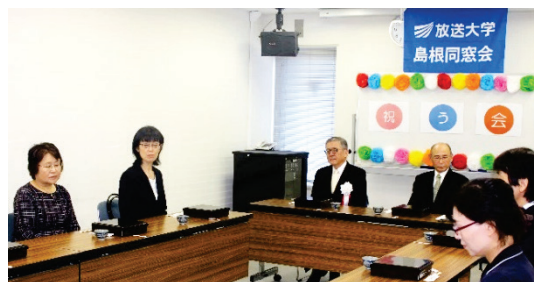
次に田坂学習センター所長から式辞がありました。この1学期を振り返り、初めての学位記授与式であったが、放送大学は多種多様の学びがあることが他大学と違う所であると強調された。特に近年始められたインターネット授業ではその制約もなくなり、いつでも、どこでも学ぶことができます。またもう一つの特徴は学び直し、一つのコースを卒業した後で別のコースに入学し学ぶ学生が多いことです。今回、6回目のコースを修了され、名誉学生として島根学習センターとして4人目で、女性としては初めて竹下孝子さんが受賞された事を報告された。

次に来賓の祝辞として同窓会の竹下会長が女性として初めての名誉学生受賞を讃えました。また、組織におけるリーダー論について述べられました。そして卒業生に対して入会を促されました。

卒業生代表として竹下孝子さんが謝辞を述べられました。定年後から放送大学に学び始められたが、健康に過ごされたこと、楽しかった一言と述べられました。花束贈呈に移り、卒業生は客員教授らからそれぞれ受け取りました。その後、金田さんの指揮のもと学歌を斉唱し、万雷の拍手のもと退場され式典を終えた。(小汀 記)

2019年度

1 学期学位記授与式をお祝いして



2019年(令和1年)9月29日(日)、12時から島根学習センター4階第2講義室において、「2019年度第1学期卒業を祝う会」が開催されました。

卒業生から4名が参加していただきました。最初に竹下同窓会会長から「同窓会も米子から津和野まで会員がいて、広いエリアを抱えていて全体で集うことができにくい状況にありますが、しかし同窓会という名前をどう覚えて貰うかということで、先般もスティックビルで開催された市民フェスタに同窓会の旗を掲げてアピールしました。また、社会貢献も植林活動に参加も予定しています。さらに消費者問題にも取り組んでおり全国的にもユニークな活動をしていると思っています。今、放送大学をどう盛り上げていくか、新入生をどう獲得していくかが重要となっています。ご卒業の皆様にはこのような活動を盛り上げるためにご尽力いただきたくぜひ同窓会に加入をお願いしたいと思います」と挨拶がありました。

続いて、島根学習センターの田坂所長から、「名誉学生をはじめ、長い期間を学ばれた卒業生の方に敬意を表します」との挨拶をいただきました。また、「同窓会の活動に対して感謝します。」とのご挨拶をいただきました。続いて、客員教授の先生から「学位授与式に参加して名誉学生の方がおられたことに感激しました。放送大学の意義がよくわかりました。」「皆様のここまでの足跡に思いをはせながら聞いていました。特に名誉学生になられた方のお話はすごいなと思ひながら聞いていました。これからも学びの



力を生かして活躍されること期待しています。」
 などのご挨拶がありました。続いて、2人目の名誉学生で同窓会役員の小汀さんから「カリキュラム変更で7コースを受講した苦労話やオンライン授業のメリットなど」お話をいただきました。この後食事をとりながら、卒業された方から苦労話などをお話いただきました。

放送大学に魅せられ再入学へ

はじめの方は「4年前に入学して無事卒業できた。会長はじめ皆さまには勉強の仕方を教えていただいた。認定心理士を目指していたが目標を達成できそう。今後どうするかは迷っている」。

2人目の方からは「3コース目を卒業しました。最初はきつかったが、後はさほどでもなかった。次もまた頑張りたい。」

3人目の方は「1回目の卒業ですが10年かかった。3人目の孫が、幼稚園になったときに入学したが、その子が中学生になるときに卒業できて、一緒に大学生になれたらいいなと思いながらやってきた。今回やっと1回目の卒業ができた。」

そして最後は名誉学生の方から「年月を振り返ると、随分経って我ながらびっくりです。はじめは60代前半で元気ですから、面接授業もどんどん受けて走っていましたが、この年齢になるとそうもいかなくなりました。やはり放送大学は話を聞いて終わりではないので気に入ってやらないとテストにも合格できないので、そういう意味でも放送大学に魅せられてしまった。

そして1年ずつ積み重ねて今日が来たという感じです。気が付いたら80歳になっていて自分でも驚いていますが、また周りにまだ諸先輩がたくさんおられて、その方々からエネルギーをもらったり、教えていただいたりと、人とのつながりが大きかったかなと思いますので、これか

ら入学の集いがあるのでそんなことをお伝えできたらと思っています。今後は、とりあえず専科でやろうと思っています。ここまで、健康を含めていろいろな条件が整って今があると思っています。これからはボランティアもやっていきたい」など、私たちにとても参考になるお話をいただきました。

短い時間でしたが、和やかに歓談して祝う会を終了しました。

ご卒業おめでとうございます。(石川 記)

島根学習センター4人目 晴の名誉学生称号を受けた 女性初の方より

“名誉学生”の称号を受けて



松江市 竹下孝子



2019年9月29日
 教養学部最後のコース「心理と教育」を卒業し、「放送大学名誉学生」の称号の決定通知を頂きました。振り返ってみますと長い年月放送大学に

通いました。その間には多くの人に御世話になりました。

年2回の単位認定試験に向って印刷教材を読み、ビデオとラジオを視聴すること約半年、集中するのは約1カ月前でした。計画を立て日々の生活の中に取込み短時間でも取り組みました。

1学期に4教科ずつ取り、どの教科を何時するか、他の用事のある時は何時するか等と自分の中で決めていました。しかし早く取組むと忘れるし、家の雑用、日々の生活の中で上手くコン

トロールするのは至難の業でしたが、続けられたのはやはり自分の中で学びたい、楽しいという想いがあったからだと思っています。

体調を崩すこともありましたが、幸いにもテスト期間は休むことなく間近になるとセンターの視聴室で集中していました。

信頼できる学友との出会い

面接授業、公開講座、セミナーへの参加、学生研修旅行等で親しくなった学友とのおしゃべりは楽しく、心から信頼できる友とのお付き合いが継続の力になったと考えます。諸条件に恵まれているなーと振り返る日々です。

健康が維持できるようこれからも本を読み、学ぶことを続けたいと願っています。

また、何かお役に立ちたいと考えていますので、お声がかかれれば参加したいと望んでいます。

長い年月学び続けられたことに、「感謝」の気持ちで一杯です。

の4、5日前に義父が急逝しました。それでも7科目なんとか合格。我ながらがんばりました。丁度県外進学の名男も後期試験中で、疲労の中、夜試験勉強したことを思い出します。

そして次の学期から面接授業を受けました。申し込んでも外れると聞いていたので、あせりました。実家のある鳥取や、子どもの所に泊まって大阪や神戸へ。とても面白かったです。

内容はグループワークや、心理検査など。バウムテストや風景構成法では、自分のことを再認識して少し落ち込んだり、安易に誰かのせいにするものではないということが領けました。まだまだ受けたかったですが、同じ名称は不可ということで、諦めた授業もあります。

集中したら既に試験が始まっていた

自宅での学習はマイペースです。目次に勉強した日付をメモして、試験が近づくと、このペースではやばいとスピードアップ。試験の山勘をかけるのも何だか楽しかったです。集中すると時間を忘れることがあり、学習センターで試験開始まで勉強していたら、もう始まっていたこともありました。

残念だったのは、研修旅行に参加しなかったことと、学友と話し合う機会が少なかったこと。議論したり質問し合ったりする場が、面接授業の時だけだったので、そういった場がほしいです。だんだんセミナーをもっと活用させてもらおうと思います。

学費が足りなくなりペースダウンしましたが、晴れて大卒になりました！

仕事にはまだ活かせていないけれど、学べてよかったです。また来年あたり、(修士選科生として)大学院の授業を少しとりたいと考えています。

学位記の授与を受けて

更年期で子離れ中の大学生

心理と教育コース 青山賀代子

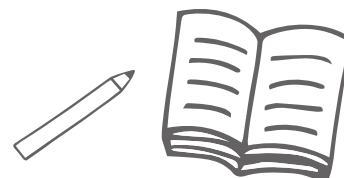


学習センター職員さんや先生方、同窓会のみなさま、お世話になりました。授与式への参加や花束、食事会を設けて下さったこと、真心に感謝です。

私の入学の目的は、認定心理士でした。心理学を体系的に学びたいと思いました。

期間の目標は、短大卒でしたので最短の2年で卒業しようと考えました。(結局4年でした)

最初の学期は、内容がどれも面白そうで、無謀にも13教科とってしまいました。単位認定試験



放送大学での思い出

社会と産業コース 飯塚裕子



放送大学には16年前に入学して、今回3コース目を卒業しました。

放送大学に入学するきっかけは、以前一緒に働いていた同僚が自営することになり、経理事務を自分でしなければいけないので、初級簿記を受けてみようと言われました。

私はそれまで放送大学を知りませんでしたが、私も新しい仕事(介護)をしようとしていたので、「生活と福祉コース」を専科履修生で入学しました。

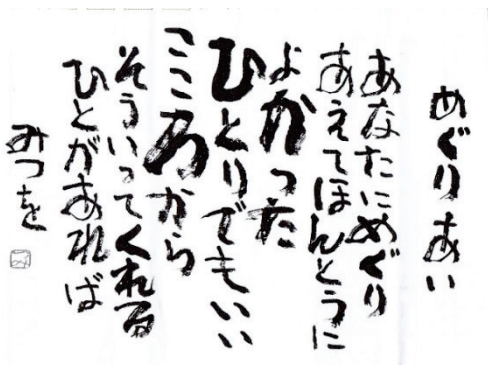
放送大学では学生研修旅行があり、15年前に津和野に行きました。初めての津和野でしたが、その折に、当時の有馬センター長に勧められ、専科履修生から全科履修生として、現在に至りました。私がこの放送大学を続けて来られるのは、同僚と大学で再会した友人のお蔭です。

半年に1回の単位認定試験は、私の年齢では記憶力が衰えますが、ボケ防止だと思い、家族に言い訳しながら受けています。

試験は大変ですが、今まで面接授業、松江の街歩き(寺町、松江城他)、学生研修旅行は楽しく過ごさせてもらいました。

これからも楽しく放送大学でたくさんの人々に会えることを楽しみにしています。

私の好きな言葉です。



ゆっくり学びつつ 全コース制覇をめざし

社会と産業コース 長尾美和子



この度3コース目を卒業し、4コース目に再入学しました。

日頃の忙しさに追われ、ややマンネリ化した自分に反省しているところです。

当初の計画では、全コース制覇を14年とする予定でしたが、既に11年が過ぎてしまい不可能なことに悟りました。今後はゆっくりと学習していこうと思います。

放送大学に入学して一番良かったことは、沢山の学友が出来たことです。リタイア後は行動範囲も限られ、交友関係も偏りがちになります。

拡大では様々な職種の人、年齢層の広さ、考え方の異なる人同士が知り合い学友となり、学問だけではなく、お互いが研鑽しあい、貴重な宝物を得たような気がします。

和服は気持ちにゆとりと至福

ところで、学習とは関係ないのですが、最近再覚醒したことがあります。着物を着ると気持ちにゆとりができ、穏やかになると感じました。4年前突然の出来事があり、全く着る気持ちが起こりませんでした。

この度、孫の七五三のお祝いで着物を着たら、以前には感じていなかった充実感を感じました。やっぱり私は日本人なのだ実感しました。3回続けて着る機会があり、益々嬉しさが募りました。着物と帯を取り合わせ選ぶ時が至福のひとつだと感じました。

学習においても、ゆとりを持ち、あくせくせず楽しみながら行きたいと思います。

卒業を迎えたとき

人間と文化コース 仙田悦子



入学から10年目にして卒業出来ました。

今、思うと入学してからの5年は、好奇心を追求する事と、仕事の参考にと思い科目

選びをしてゆっくりとした学生生活を楽しんでいました。

そんな時取りたいエキスパートが目にとまり、取りたいと追いかけて向かい合ってから5年は速かったです。

無事に卒業式が終わり、再入学の手続きの時に、根気負けて仕掛けていた「科目郡履修認証制度」エキスパートの2つのプランが、取れるのではとなったときに、大学に籍があるのはその3月の月末までだ、あと3日だと判り、直ぐに家に飛んで帰り、申請用紙をコピーし書き込みも見直しして、郵便局にて申請料の切手も間違いなく入れ、書留にて送り終えた時のホッとしたことを思い出します。間に合って良かった、バタバタした一日でしたが、思い出しては、最後の最後までチャレンジしたのが満足な結果に落ち着きました。

今は、一寸ひと休みをしています。そして次の課題を見つけて進んで行こうと思っています。



新連載シリーズ 第1回

“名誉学生会員”を訪ねて



師走を控えた11月30日(土)11:00から「名誉学生を訪ねて」という企画で、冬の光を返して緩やかに流れる大橋川の流れのその麓、

竹下会長と平塚さんの事務所に伺いました。

竹下 本日はお忙しいところありがとうございます。島根同窓会誌の新しい取り組みとして今回から“名誉学生を訪ねて”という新企画を計画しました。



ついでに島根学習センターでは平塚さんが名誉学生第1号ですので取材に伺いました。よろしくお願いします。

平塚 私が名誉学生になったみたいで、どうでもよいことです。何となく20何年通っていたらそうなったみたいです。別に名誉学生を目指していたのではなく、ましてや入学した頃はそんな制度は無かったですしね。それに放送大学は制度が途中でコロコロと変わりますからね。

竹下 名誉学生は全てのコースを踏破することですが、今まで履修されたコースで一番面白かったのはどのコースでしたか？

平塚 「自然の理解」だったかな？自分はもともと私学の通信教育を受けていたが、文系しかなくて、環境系の仕事をしていて理系を学びたいと思っていた。でも当時は理系のカリキュラムは放送大学しかなかった。そして修士も島根のセンター1号でそれも「環境システム科学」という理系でした。

竹下 平塚さんは昔から理系でした？

平塚 昔はプロの研究者とか大学の研究室の人と一緒に共同研究など仕事をしていましたが、何か理系の人というのは変なプライドのようなものを持っておられる人が多いように思います。理系のDrも取ったのですが、理系だからどうという事は無いと思いますよ。

それから放送大学ではOBをあまり利用していないみたいだし、学生の対応もキチンと出来ていないような感じですので残念です。また放送大学での単位習得は私学の大学に比べたら楽だと思いますよ。特に再入学して学ぶということについては、単位数が本当に少なくても卒業できることは大いに疑問ですね。



竹下 幼稚園でも外国語教育に力を入れているのに、外国語の習得単位数が僅か2単位というのは如何なものか。憶測だけど、新規入学生が減ってきているので、入学生の人数を増やすということが狙いでは？

平塚 放送大学の職員の方というのは、本部の方は知らないけど、他の大学の情報をあまり持っていないじゃないですか。他の私学通信教育では単位習得が難しいので、1年で半分位が脱落して人数が減っています。私たちはこれを「二百三高地」と呼んでいましたね。放送大学は単位が取りやすい。それで学生数を増やそうとするのはどうかと考えています。

竹下 今全体の学生数は9万人を切っています。私が入った頃には島根学習センターにも600名を超える学生がいましたが、今は500人前後です。そしてその学生数というのも専科と科目取得のための学生で、資格取得を終えればもう放送大学からは去って行く状況ですね。

印刷教材の改訂はタイムリー

平塚 教員制度の改訂の時に臨時的に学生数がドッと増えたという事例もありましたが、矢張り放送大学も若い人には就職の斡旋とかカウンセラーのようなものも必要ではないかと思っています。でもタイムリーな授業内容とか、科目の改訂などが早いということでは他の大学では真似ができない放送大学の良いところですよ。

私が受けた別な大学では随分前の教科書を使用していた科目などもありましたよ。

知野見 私は「人間と文化」コースを卒業しましたが、平塚さんはグラッドスラムなのでこのコースも修められたと思います。このコースに

ついでの感想や想いがありましたらお聞かせください。

平塚 「人間と文化」コースは楽でした。1番最初に受けたのが「自然の理解」というコースでした。次に心理学を学び、認定心理士を取得しました。それから博物館学芸員の資格も取得したくて放送大学の学芸員の科目を取り、島大の聴講生になれば学芸員資格が取れると聞いて島大へ行きましたけど、実習科目の取得は学外の者はダメだといって受付けてもらえなかった。

知野見 この前まで同窓会の副会長をしておられた竹下隆さんも学芸員の資格取得を目指し、岐阜まで通われました。

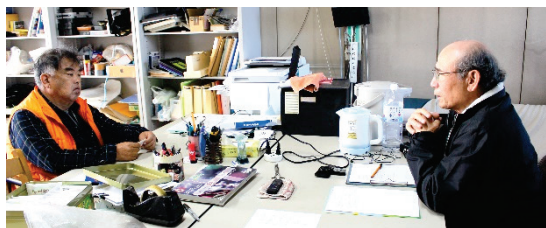
卒論を書かなくて卒業は疑問

平塚 島大なんかの制度では、部内の学生には関連施設へ行かせて実習取得させていますけど、放送大学生のような部外の学生に対しては全く相手にしてもらえない。放送大学は学ぶ科目は多いけど学芸員の資格は取れない。それから例えば〇〇学を学ぶということになると、最初は概論や概説から入って深く専門的に学んで行くのですが、放送大学ではそのような区別が全く分からない。一応の教科科目はあるのだけど、実際に取ってみてもあまりその区別が出来ていない。大学院についてもそう感じました。

知野見 広く浅くというような感じですね。

平塚 卒論を書かなくても卒業できるというのも疑問ですね。他の大学では卒論が書けなくて落ちる人が結構多かったですよ。文系の卒論というのは結構自由テーマですが、テーマを自分で決めないと卒論が書けないので良し悪しですね。理系では自分の研究内容が即、卒論になりますのでね。院での修論もそのたびに千葉へ行くというのも大変なことですよ。

竹下 貴方の書かれた修士論文や博士論文を拝見しますと、現地へ赴き実際に調査をし、関係者にヒアリングをしていて、論文の構成等も含め大変に貴重なもので、私が行っている島大ゼミでも大変役に立っています。



竹下 これから学ぶことについて、目指されることや方向とはどんなものですか？先ほどのお話では修士でもう一度学ぶことができれば再度入学したいとお聞きました。

平塚 そう思いますけどね。でも今の私の状態ではスクーリングには行かれないので・・・かといって全科生にはもうなれない。今放送大学での単位は396単位ほど持っていますけどね。

放送大学は単位を取ってしまえば追い出してしまうという、そういうあり方も疑問ですね。グランドスラム達成後は専科しか取れないというのはつまらないですね。

竹下 フリータイムにはどんなことをしておられますか？

フリータイムは晴漁雨読の生活

平塚 そうですね、晴漁雨読で晴は魚釣、雨なら読書ですね。

竹下 愛読書などはありますか？

平塚 図書館で新刊の本を取ってもらったりしています。県と市の両方の図書館で。ベストセラーについて関心はありません。新聞紙上に載っている科学編などで好いなと思うので読みますね。アマゾンにある、「オタク本」なんかも買って読みます。

知野見 松江市は国宝や美術館などの観光文化、それにインフラなどが整っていて大変暮らしやすいように思いますが、学ぶという視点からはどうお感じですか？

平塚 学習センターが出来た当初は、視聴室で番組を視聴していました。今みたいにインターネットでつながっていなかったのもその頃は、近くに学習センターがある松江にいて良かったと思いました。

知野見 東西に長い島根県は、特に西部にお

いて放送大学で学ぶことについて私はハンディがあると感じています。例えば、少し前までは過去の問題を調べるには、松江まで行って学習センターのファイルに綴じてあるそれを調べることにしかできなかったことと、卒論発表を聴講するのに松江という遠方にまで出向かなければ聴くことができない等。

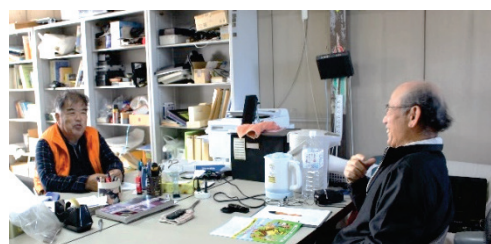
平塚 隠岐の人なんかが一番大変じゃないですかね。

竹下 貴方は島根学習センターの生き字引のような存在ですから。現在の放送大学についてご意見がありますか？

平塚 放送大学は卒業生に対しての扱いは十分ではない感じがしています。アフターのこと、サポートのことなど。例えばアンケートの結果など一切学生には知らされていない。

竹下 最早卒業生は学生ではないから情報発信はしないのでしょうか。大学にとっては貴重な資源だと思うのですが。これから名誉学生が次々と誕生しますので、切りの良いところで祝賀会を考えています。その折には是非ご参加下さい。それまでは健康に十分ご留意して下さい。

今日は貴重な時間をいただき、本当にありがとうございました。



取材を終えての感想（知野見孝信）

出雲弁そのまま、気さくに話し語られる平塚さん。



平塚さんには昨年2019年1月号、『たたら』第12号において「連載シリーズ第5回・先輩

同窓会員を訪ねて」に一度登場していただきましたが、今回からは別な角度、すなわち島根学習センターに於いて令和元年まで放送大学の全コース卒業をされ（グランドスラム達成）

名誉学生となられた方は 4 名おられ、そのお一人お一人をたずねて「名誉学生を訪ねて」という新企画の第 1 号として、再び平塚さんをお訪ねしてお話をお伺いしました。

グランドスラム達成・修士・Dr と学んでこられ、また気象協会にお勤めの時には、天気予報の原稿(やん坊まん坊)なども執筆されておられたというご経歴。

お伺いする一つ一つに示唆と、偏らない幅広い学識とそしてご自分の考えお持ちであることが分かり、私自身も学びについてのこと以外にも、色んなことを知らされたり気づかされたりして、本当によい時間をいただきました。改めて平塚さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

社会貢献活動

**「さんいん環境キャンペーン
森林保全活動」への参加報告**



同窓会旗と幟旗・センター幟旗

2019 年 10 月 26 日(土曜日)、松江市東長江町にて行われた「さんいん環境キャンペーン森林保護活動」に同窓会の地域貢献活動の取り組みとして昨年に続き 3 回目の参加をしました。全体では各企業や組織から約 140 名の参加があり、約 800 本のアカマツやクヌギ、コナラを植樹しました。放送大学からは同窓会、学友会、学習センターの関係者で 8 名の参加でした。

今回は 2020 年の大田市での第 71 回全国植樹祭を控えた年というので、主催者の山陰中央新



報社から参加のお礼と、第 71 回全国植樹祭を盛り上げたいとの挨拶がありました。続いて、島根県の担当から植樹祭への協力依頼がありました。また植樹祭は大田市の三瓶山で開催されますので、一般の方々への参加依頼もありました。森林保護活動に興味のある方はぜひ参加されたいと思います。

今年は、前日まで雨模様で開催が心配されましたが、植林の時間帯は幸運にも曇り空となり無事に



固く根が張り掘れない

植林を終えることができました。植林場所は昨年とほぼ同じところでしたが、今回は竹の根っこなど土壌がよくなくかなり苦勞しました。

同窓会と島根学習センターは昨年に引き続き加者で唯一「のぼり旗」を持って参加しており、集合写真ではしっかりと放送大学と同窓会をアピールすることができたと思います。



11 月 22 日山陰中央新報

今回の活動の様子は11月22日の山陰中央新報社の新聞に掲載されました。ぜひご覧になってください。(記：石川)

しまね大交流会 2019 へ参加しました



出展ブースの設営を終えて

2019年11月16日(土)、松江市の「くにびきメッセ」にて「しまね大交流会 2019」が開催されました。同窓会は島根学習センターとともに参加しました。

「しまね大交流会 2019」とは、山陰・島根で活躍する企業・自治体・高等教育機関等がブースを出展し、参加者と交流する「ワカモノのための県内最大級のイベント」です。

主催は「しまね大交流会実行委員会・島根大学」です。

放送大学島根学習センターが今年初めて参加するにあたり、同窓会として説明員補助などとして協力しました。

出展者は県内を中心に幅広い分野の会社、団体、官公庁、大学・高専など200を超える団体がブースを出展し、おそらく2,000人をこす参加者で交流会は大いに盛り上がりました。

途中には、島根県知事・島根大学学長も見えられ、島根県や大学としても交流会への期待が感じられました。

放送大学島根学習センターのブースにも、過去にないほどの見学者が訪れ休む暇もないほど盛況でした。



金田理事、ねえ放送大学知っている！

今回感じたことは、このようなイベントがあれば積極的に参加しアピールすべきと思いました。今回ははじめての参加ということもあり、反省点もいくらかありました。まず、展示内容をもう少し充実したものにした方がよかったのかなと思いました。

今回は放送大学の紹介ビデオを放映したのがメインでしたが、特に人気のある授業内容を並べてアピールするとかもう一工夫が必要ではないかと感じました。また、このイベントは学生がほとんどであったので、



説明の追われる内田主任

今後他のイベントにおいては各々イベントごとにその内容にあった紹介をしたほうがより効果的ではないかと思いました。今後も学習センターと連携しながら、改善していけたらと思います。

お手伝い頂いた皆様ありがとうございました。

2019年2学期の 入学説明会に参加して

島根同窓会会長 竹下靖彦

2019年度第2学期(10月入学)の入学説明会

が、6月30日から9月8日まで10回開催され、同窓会から毎学期に“先輩からひと言”と“入学相談会”の支援を行っているが、年々事前の参加希望者が減少し、2学期の説明会には延べ15人が事前及び当日参加であった。

以前のように全科生、専科生、科目生が中心ではなく、教員免許追加科目のみの科目生、幼・保教員特例単位、看護師資格アップのための科目生が増加しており、本来の大学が重視している生涯学習教育から、単位取得後の入学者が減少している。現に学習センターでは全科・専科・科目生含めて学生数が500人前後となっている。

併せてインターネットでの入学説明が可能のため、若い方の入学希望者は、改めて説明会に参加しなくても入学手続きが可能となるため出かける必要がない。

以前のように、入学に関する不安や入学後の学生生活や、単位認定試験に対する事前準備について、先輩に尋ねることが減少しており、このまま推移すれば入学説明会は有名無実となり、費用対効果を考えると、敢えてセンターから地域に出向く必要はなくなるだろう。

恒例の学習センター支援活動として2学期入学説明会に参加しての感想である。



No. 7

松江市 竹下靖彦



- ・本の題名 『五日市憲法』
- ・著者 新井勝紘
- ・出版社 (株) 岩波新書

1968年(昭和43)8月、自由民権思想家・仙台藩出身の千葉卓三郎(1852～83)らが起草し、現憲法の源流といわれ、民主的先駆性を持った市

井の民間憲法草案が、五日市町(現東京都あきる野市)深澤家にある「開かずの蔵」と呼ばれていた、旧家深澤家土蔵から『五日市憲法草案』が東京経済大学の色川大吉教授とそのゼミ生たちの調査で発見された。

深澤家は林業と筏業(木材を筏に組む)で財をなした旧家で、深澤名生・権八父子は、明治初期の翻訳書の7割を所蔵する勤勉家で、五日市小学校の前身である勸能学校の教師をしていて、千葉卓三郎と親交していた。

著者の新井勝紘さんは、色川教授のゼミ4年生として参加し、土蔵の入口の扉の周辺はかなり傷んでおり中身が見えるほど崩れ、屋根は檜皮葺ながら一部は傷んでいて、ところどころに夏草が生えていたひどい状態の土蔵であった。

五日市憲法草案の発見は、竹製の箱を見つけ蓋を開けたら布製の風呂敷が経年変化に包まれた一群の文書史料の下から、和紙に綴った墨書史料があり表に「日本帝国憲法」と記されていた204条からなる草案であった。著者はこの発見史料を基に急遽卒業論文を変更した。

内容は、時の政府に国会開設を求める住民権運動が高揚した80年代教員や青年など地域の人々が、国の在り方を議論して全国100カ所以上で憲法試案が作成されていた。

特徴は今日の三権分立主義

五日市憲法の特徴は、天皇と民撰議員と元老院で成り立つのに、国会国民の権利、国会の規定を主とする立法権、司法権に表れていて、立法・行政・司法の三権分立主義をとる憲法と言える。

特に204条のうち「国民の権利」について36条が規定され、今日の日本国憲法と比べても遜色のない民主的な内容を含んでおり、基本的人権の源流となっている。加えて抵抗権や婦人参政権の規定まである。その背景には、五日市学芸講談会や学術討論会で、自由闊達な学習と討論が若き民権家を育成し、五日市憲法草案を生み出す土壌となっている。

私はこれまで、土佐の自由民権思想家植木枝

盛(1857～92年)の「東洋大日本国憲法」が、特記すべき早期の憲法草案だと認識していたので、この冊子との出会いは衝撃であった。

今日の憲法改悪議論が、憲法を守るべき立場である総理大臣が、憲法を壊す根拠とする「押しつけ憲法」だと声たかだかに叫び、歴史を歪曲する人々に対し十分に対峙できる書である。

12月に高知市に出かけたにも拘わらず、時間がなく植木枝盛邸跡や自由民権資料館を訪れることなく、帰郷を急ぐあまり坂本竜馬関係を集中しての見学となり、誠に残念でした。

再度高知に訪問する予定である。

同窓会に期待する ⑤

同窓会創立の頃

元所長 足立悦男



同窓会は役員を引き受ける人がなくて難しいです。前所長からの引き継ぎでした。

そのとき、そうか、卒業生が難しいなら、在校生で作れないだろうか。在校生といっても、放送大学のメリットとして、多くの人が再入学の卒業生です。同窓会ができれば、島根学習センターに全く新しい学生交流の場が生まれると思いました。

そこで、学生代表として、卒業予定の竹下さん、学友会会長の石原さんのお二人。学習センターから私と渡辺事務長。十月頃に、この4人で設立準備委員会を作り、所長室で何度も同窓会規約・運営方法などを話し合いました。

年に何度か千葉の本部で全国所長会議があります。隣の席はいつも鳥取学習センターの西田所長です。幸いなことに鳥取センターでは1年前に同窓会ができていて、規約・運営などのアドバイスを受けました。そして半年後の翌年4月、

念願の同窓会ができたのです。卒業した竹下さんに会長をお願いし、役員も決まりました。会報「たたら」も発行されるようになりました。その後の同窓会のすばらしい活動は、皆さんご承知のとおりです。

同窓会ができて、すでに7年。「たたら」も13号。「たたら」には皆さんの文章がたくさん載っているの、毎号楽しみにしています。同窓会では毎年ユニークな企画が実施されてきました。

今では全国の学習センターの中で、もっとも活動的な同窓会の1つと評価されています。会長・役員・会員の皆さんのご努力に敬意を表したいと思います。

他大学の通信教育は

～夏季スクーリングを終えて～

近畿大学通信教育部 法学部 正科生
島根同窓会 竹下 隆



今年度、3年次に編入学した私立大学の通信教育部法学部の初めての本校夏季スクーリングを受めました。

期間は8月25日から27日までの3日間(9:00～17:30)の15コマ(2単位分)スクーリングでした。通学部7学部通信教育部1学部の総合大学の本校キャンパスでの授業で幅広い年齢と地域からの参加でかなりハードな授業でしたが終了試験も無事通過して成績評価は「優」で2単位を取得することが出来ました。

大阪市内に宿泊して東大阪まで通学していましたが、「学びなおし」が言われることが多くなりましたが、まさしく放送大学はそのフィールドとおもいます、他方ステップアップのフィールドが専門学部の学びではないかとおもいます。

大学から放送大学に学び直しへ

後期からはメディア授業（面接授業）も受講できるようになり本格的な学習に取り組んでいます。偶然ですが今年度私の在籍する大学から放送大学に入学された方がおられます、まさしく「学びなおし」の姿ではないかと思えます。

学ぶ意欲のある者同士で意見交換、情報交換をできる機会を実現できれば有意義な場となると思えます。

文化部活動から No.1

ちひろ生誕100年 前進座松江公演を観劇会

ちひろ ー私、絵と結婚するのー

令和元年
10月16日
(水)島根県
民会館中ホ
ールにおい
て、「いわさ
きちひろ生



誕100年で前進座公演」が昼夜2回開催された。

わが島根同窓会も、初の文化部活動の一環として後援団体となり、「松江公演を観る会」に竹下会長が参加し、代表として公演成功のため努力をされていたため、日頃骨身を惜しまず大学のためにお世話下さる会長なので、私も鑑賞券を購入、昼の部に観賞した。

会場は平日にもかかわらず、多くの観劇ファンが来場されていて、会長以下スタッフの方々の努力の賜物である。先ず竹下会長の挨拶が始まったが、何時にもなく緊張気味であった。

“いわさきちひろ”の詩や柔らかい絵には、何とも言えぬ優しさが溢れているものばかりであり、大いに期待を抱いて舞台に集中した。

演劇を見学しながら、演者は力いっぱい表現しているのに、少し物足りなさを感じたのは私だけだったかも知れない。何故なら彼女の書くものを私たちはそれぞれの感性で感じるので、本の力が持つその大きさには勝てない。それは今回の演劇に限らずではあるが、まあそれは仕方のないことだと思う。観劇した友人たちは“良かった”“良かった”と感動しきりであった。

ちひろの生涯には、辛いことがたくさんあったことだが、本当の優しさは苦しみの中から生まれるのだらうと思った。同窓会の取組む文化活動に期待をしたい。(記：安部保江)

第7回中四国同窓会 交流会開催報告

副会長 佐藤ひばり



参加者一同写真

月日：令和元年12月7日(土～)8日(日)

場所：オリエントホテル高知会議室

(高知市升形5-37)

主催：放送大学高知学友同窓会

第1日

1) 開会挨拶

高知学友会山本会長、高知SC吉倉所長、高知学習センター山崎事務長

2) 放送大学の現状講演

岡田副学長が「放送大学新時代」というタイトルで7つのキーワードについての説明。

3) 連合会からの報告

佐葉会長から①交流会統一テーマ「同窓会会員・学生のユニークな活動」、②卒業・終了祝賀パーティーへの参加勧誘、③連合会ホームページのリニューアル説明、④同窓会のメール配信の推進、⑤バッジの販売促進のお願い、⑥助成金の事業計画書の提出期限、⑦各同窓会の会則、



交流会会場

役員名簿の提出、⑧同窓会運営について、それぞれ説明。連合会としては、各県の放送大学から出た意見、要望などを聞き入れ、検討し、今後の対策につなげたいとのことでした。

4) 同窓会連合会と中国四国地区同窓会との情報交換会

各県の報告シートにより、①活動報告、②同窓会会員・学生のユニークな活動の紹介などを各県同窓会代表により報告された。

5) 講演会

「笑いヨガ」 講師は高知学友同窓会副会長川上由美子氏による効果と実体験があり、ほっこりとした気持ちになり和やかな風が流れたところで会は終了した。

6) 懇親会

各県の方々と交流を図ることができた。

第2日

龍馬の生まれたまち記念館の見学、はりまや橋、よさこい交流館などをめぐり、よさこい踊りを体験しました。高知城の近くで開催される地場の農産物が並ぶ日曜市、ひろめ市場などを散策し皆さんとさらに交流が深まり楽しいひと時を過ごしました。そして皆さんと一緒に昼食をとったのち解散となりました。

来年の第8回は鳥取同窓会で開催することに

なり、すべての日程を終えることができました。



(はりまや橋)

今回初めて参加して、各県が年一回、本学、連合会と共に連携し、意見交換することで、さらに放送大学が発展することが大切だと思いました。



快晴に映える高知城

第7回中四国同窓会交流会開催

2019年12月7日(土)～8日(日)に、毎年恒例の交流会が高知市「オリエンタルホテル高知」にて開催され、私と佐藤副会長が参加した。

今年度は四国地区で高知学友同窓会が当番となり、中四国すべての同窓会から会長・副会長と連合会からは会長、副会長、事務局長が参加して開催された。

開会挨拶を高知学友会同窓会長から「遠路高知まで早朝より来県され、実りある交流会を期待したい」との挨拶があり、高知学習センター所長から「センター設立25周年、同窓会設立10周年となり、記念誌発刊に向け準備中である」旨の歓迎挨拶があった。

今後30年先を目指して

放送大学岡田副学長より「放送大学新時代へ」の講演が行われ、2学期学生募集結果年々入学者が低下している。理由として入学する学生の質、年代や属性の変化が生じていて、リピーターが増加する一方新規の入学者が減少し、学位を求めないため学生も増加していて、大学設立当初

から変化している。」「社会人の多様な学び直しや生涯学習のニーズに応え、新たに単位認定を前提としない様々な学びの機会を提供する」「大学では Vision17 プラン」で人生 100 年に向け新たな生涯学習のため、①教育内容：教養教育の新時代、②教育放送：教育放送の新時代、③教育組織：学習センターの新時代として、大学の魅力を高める新たな取組を総合的展開・発信する」と今後 30 年を視野に入れたプランであると展望を語られた。

新たに連合会の指導力が問われる

連合会佐葉会長からは「2018 年で全国限なく同窓会を設立したが、新たな組織的問題点が発生する可能性があり、連合会の指導力が問われる状況である。各同窓会では民主的な運営に努めてほしい。大学同様会員の社会的活動の把握に努めてほしい。」と話された。

交流会では、事前に各同窓会より「情報交換会報告シート」に基づき、①活動報告、②同窓会会員・学生のユニークな活動紹介の報告を行った。活動報告では、会費の徴収問題、会員増対策問題、卒業生と在学生の統合問題、学習センターとの友好関係問題、助成金申請問題等について、現状報告から成功事例を聞き、その対策に取り組むべき課題について教訓を学んだ。

参加しての感想は、会員が増加しない対策として、安易に学生を加入させることで解消するのか？卒業生に対し何をもって魅力を実感されるのか？果たしてその方策はあるのか？わが同窓会も設立 10 年を目前にして改めて議論を要する。(竹下：記)

第 2 回鳥取地域 会員・学生交流会開催

12 月 14 日(土)14:00～米子市コンベンションセンターにおいて、第 2 回鳥取地域会員・学生



意見交換する交流会

交流会を 2 年ぶりに開催した。

竹下会長は第 7 期通常総会以後の活動について、時系列にまとめ①広報部による会報“たたら”発行に伴う編集企画、②学位記授与式、③卒業を祝う会、④放送大学の広報・宣伝、⑤同窓会の存在をアピールする社会貢献、⑥新しく取組んでいる文化部活動等について報告した。

30 年後を目指し“Vision’ 17 プラン”

田坂所長からは人生 100 年に対応するため放送大学新時代へ向かうため、今後 30 年を視野に入れた、“Vision17 プラン”について①教育内容に関わる「教養教育の新時代」、②教育に用いるメディアや授業の制度に関わる「教育方法の新時代」、③教育組織に関わる「学習センターの新時代」で放送大学の魅力を高める総合的な取組を展開予定。社会人の多様な学び方で、より社会のニーズに応えるため、履歴証明書制度を活用した学び方や学び直しに最適な 25 のエキスパートを活用して、科目群履修認定制度を実施する方向と、最新の大学状況を提案された。

交流会では、エキスパート制度について議論が進み、社会的な資格取得と活用が有名無実な存在となっていて、認証プランの結果が後付けで認知度が皆無である。また各人の地域貢献活動に対する取組の報告として、災害ボランティア、学校図書室での補助活動等が報告された。

その後交流会終了後初の忘年会を駅前の居酒屋にて開催しともに交流を深めた。





だんだんセミナー等一覧

令和2年度 1月～3月

★参加無料

「心理学から見える日常生活の面白さ、私たちの面白さ」講師：石井 徹 客員教授

日 時 2月19日(水) 13:00～15:00 島根学習センター
3月18日(水) 13:00～15:00 島根学習センター

「生物よもやま話」 講師：大島朗伸 客員教授

日 時 2月27日(木) 14:00～15:30 島根学習センター
3月26日(木) 14:00～15:30 島根学習センター

「岩石と鉱物の世界」 講師：高須 晃 客員教授

日 時 2月25日(火) 14:00～15:30
3月17日(火) 14:00～15:30 ※島根県立図書館

「古文で作文～創作から学ぶ古典文学～」 講師：野本 瑠美 客員准教授

日 時 2月21日(金) 15:00～16:30 島根学習センター
3月13日(金) 15:00～16:30 島根学習センター

「健康づくりに生かす運動生理学」 講師：原 丈貴 客員准教授

日 時 2月5日(水) 13:30～15:00 島根学習センター
3月4日(水) 13:30～15:00 島根学習センター

「音楽は世につれ、世は音楽につれー音楽でひもとく時代と社会」

講師：原 丈貴 客員准教授

日 時 2月12日(水) 10:00～11:30 島根学習センター
3月11日(水) 10:00～11:30 島根学習センター

「英語小説を愉しむ」 講師： 宮澤 文男 客員准教授

日 時 2月15日(土) 14:00～16:00 島根学習センター
 3月14日(土) 14:00～16:00 島根学習センター

「英文法の基礎講座 英語塾」(同窓会員・学生) 講師： 宮澤 文男客員准教授

日 時 2月20日(木) 11:00～12:30 島根学習センター
 3月 5日(木) 11:00～12:30 島根学習センター

「だんだんサロン」 講師： 足立 悦男 放送大学島根学習センター元所長
【作文の時間】

日 時 2月 8日(土) 13:30～15:00 島根学習センター
 3月 7日(土) 13:30～15:00 島根学習センター

【おしゃべり会】

日 時 2月 8日(土) 15:30～17:00 島根学習センター
 3月 7日(土) 15:30～17:00 島根学習センター

～同窓会からのお知らせ～



新会員のご紹介 (2019年7月～2019年12月)

2019年度第1学期卒業

生活と福祉コース

仙田悦子さん(松江市)

◆同窓会の活動日誌◆

(2019年7月～12月)

7月度

5日(金) フェスタ2019プロジェクト

7日(日) オープンキャンパス(出雲)
 12日(金) フェスタ2019プロジェクト
 18日(木) “たたら”印刷所入稿
 23日(火) “たたら”最終校正
 27日(土) “たたら”13号会員へ発送

8月度

2日(金) 納涼会案内状発送
 8日(火) フェスタ2019プロジェクト
 16日(金) ちひろ公演事務局会議
 17日(土) センターとの打合せ
 20日(火) ちひろ公演世話人会
 22日(木) 英語塾
 29日(木) フェスタ2019プロジェクト
 29日(木) 1学期学位記授与式打合せ
 29日(木) 第7期第2回役員会
 29日(木) 納涼会開催

9月度

- 11日(水) ちひろ公演事務局会議
 13日(金) フェスタ2019プロジェクト
 17日(火) ちひろ公演世話人会
 21日(土) フェスタ2019参加
 22日(金) 2学期学位記打合わせ
 29日(日) 第1学期学位記授与式
 29日(日) 第1学期卒業を祝う会

11月度

- 7日(木) フェスタ2019
 14日(木) 鳥取西部地区交流会案内状
 16日(土) しまね大交流会参加
 28日(木) 英語塾
 30日(土) 第7回第3回役員会
 30日(土) “たたら”名誉学生取材
 30日(土) 忘年会開催

10月度

- 4日(火) ちひろ公演事務局会議
 16日(水) ちひろ松江公演
 19日(土) オープンキャンパス(浜田)
 26日(日) 植林ボランティア(松江)
 28日(月) ちひろ松江公演反省会
 31日(木) 英語塾

12月度

- 7日(土) 全国同窓会連合会中四国
 8日(日) 同窓会交流会(高知)
 14日(土) 鳥取西部地域会員学生交流会
 14日(土) 鳥取西部地域会員学生忘年会
 19日(木) 英語塾開催
 23日(月) “たたら”14号校正作業

同窓会 当面の行事案内

市民公開講座開催のご案内

日時 2020年2月9日(日) 13:30~15:00 (共催: 島根同窓会)

会場 島根学習センター 「3階第1講義室」

テーマ 『地球温暖化と気象災害』

※地球温暖化の要因や現状を解説するとともに、温暖化がもたらす気象災害について、松江地域の状況も紹介しながら話します。

毎朝の天気図を予報士なみに読み解く楽しさを体験しましょう

講師 田坂郁夫先生(島根学習センター所長・島根大学名誉教授)

2019年度卒業研究・修士論文発表会開催のご案内

日時 2020年2月9日(日) 15:15~17:00 (共催: 島根同窓会)

会場 島根学習センター 「3階第1講義室」

発表 修士論文発表 3題 ①生活健康科学プログラム、②人文学プログラム
 ③臨床心理学プログラム

2019年度第2学期学位記授与式開催のご案内

日時 2020年3月29日(日)11:00~12:00 (共催:島根同窓会)
会場 島根学習センター 3階「第1講義室」
対象者 2019年度第2学期卒業要件を満たした学生
※後輩たちの卒業式を祝福するため、会員多数のご参加をお願いします。

2019年度第2学期卒業を祝う会開催のご案内

日時 2020年3月29日(日)12:00~13:00 (共催:島根学習センター)
会場 島根学習センター 4階「第2講義室」
対象者 2019年度第2学期卒業要件を満たした学生の皆さん
※後輩たちの卒業を祝福するため、会員多数のご参加をお願いします。

第12回市民公開講座(総会記念)開催のご案内

日時 2020年4月18日(土)13:00~15:00 (共催:島根学習センター)
会場 島根学習センター 4階「第2講義室」
講演 『家造りはレジャーなのだ!』~木質ブロックのシェルター~
講師 三島昌彦氏(株式会社 つみつく社長:木質ブロック開発者)

島根同窓会第8期通常総会開催のご案内

日時 2020年4月18日(土)15:30~16:30 (共催:学習センター)
会場 島根学習センター 4階「第2講義室」
議題 ①2019年度事業報告、②2019年度会計報告・同監査報告、④2020年度事業計画(案)、⑤2020年度予算(案)、⑥その他
※会員の皆さま是非ご参加をお願いします。

~編集後記~

昨年もわが国の政治は、一強多弱にあってアベノミクスによる大幅な金融緩和で、①株で構成する投資信託を日銀に大量に買い取らせる、②公的年金の積立金で株を買い増しによって、2つの公的マネーが日本の株式市場を釣り上げている。とくに年金積立金管理運用独立行政法人(DPIF)と日銀が株式市場に投入した公的マネーは69,3兆円(9月末)で市場の時価総額全体の11,2%と報じている。この結果は大企業や富裕層に多大な利益をもたらしている。

反面、国民に対しては、10月から消費税率10%に引き上げた。30年前に導入されたが大企業や富裕層減税の穴埋めとなり、財務省統計調査では大企業の内部留保額は456,1兆円と過去最高となっている。後期高齢者医療費2割負担の改悪案など、早くこの内閣を退陣させるために、香港のような大きなうねりが起こらないかとぼやきつつ、今年も憂鬱な新年を迎えたのは私だけ?…(靖)